



流域環境保全学分野
准教授
きゅうかともこ
久加朋子
博士(工学)
(京都大学・平26)

■経歴

大阪府立大阪女子大学理学部卒 / 大阪府立大学大学院理学系研究科修士課程修了 / 新日本環境調査株式会社 / 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻博士課程修了 (平成26) / 北海道大学工学部博士研究員 (平成26～平成30.3) / 北海道大学工学部特任准教授 (平成30.4～令和3.3) / 富山県立大学工学部准教授 (令和3.4～)

担当科目 森林流域管理学, ピオトープ論, 環境情報解析実習, 測量実習, 流域保全学 (大学院)

専門分野 土砂水理学 / 河川工学 / 流域保全・管理学

論文・報告

「固定床領域を有する河川における掃流砂・河床変動特性と河川生態システム改善に関する研究」 (学位論文)
「Morphodynamic effects of vegetation life stage on experimental meandering channels」 (Earth Surface Processes and Landforms, 2021)
「Dominating factors influencing rapid meander shift and levee breaches caused by a record-breaking flood in the Otofuke River Japan」 (Journal of Hydro-environment Research, 2020)
「非粘着性河床材料で構成される交互砂州に粘着成分を供給した場における砂州形状と河床構成材料の変化」 (土木学会論文集 B1 (水工学), 2020)
「急流河川に繁茂する植生流失特性の違いに伴う流路変動特性に関する実験」 (土木学会論文集 B1 (水工学), 2019)
「側岸に繁茂する植生が流路変動に与える影響」 (土木学会論文集 B1 (水工学), 2018)

所属学会 土木学会 / 応用生態工学会 / 水文・水資源学会 / International Association for Hydro-Environment Engineering and Research (IAHR)

学会委員等 応用生態工学会幹事・会誌編集委員・情報サービス委員

学外活動

厚真川土砂流出研究会 (平成31～) / 北海道建設部専門員 天人峡美瑛線災害対策会議 委員 (平成30) / 第22回国際水理学会アジアパシフィック大会 (平成30～令和2) / 応用生態工学会若手の会代表 (平成29～平成31) / 土木学会水工学委員会 2016年8月北海道豪雨災害調査団 (平成28) / iRIC 研究会 (H26～) など

受賞歴

Best Paper Award, 21st IHAR-APD Congress, Yogyakarta, Indonesia (平成30.9) / 北海道開発協会会長賞, 第63回北海道開発技術研究発表会 (分担, 令和2年) / 口頭発表優秀賞, 第18回応用生態工学会全国大会 (東京, 平成26.9) など

現在の研究課題・概要

1. 河道内植生と流路形態との相互作用に関する研究
現地データ、実験、数値解析を用い、河道内植生の侵入特性や、植生と流路形態との相互作用を解明する研究を行っています。
2. 急流河川における大規模流路変動に関する研究
側岸侵食による堤防決壊など、急流河川に特有の土砂災害・氾濫形態に関する研究を行っています。
3. 崩壊地から河川への細粒成分流入と砂州への影響に関する研究
崩壊地から河川へと流入する土砂の輸送と砂州上への堆積特性、河川環境へ与える影響等に関する研究を行っています。
4. 積雪寒冷地における融雪挙動の変化に関する研究
降雨に伴う積雪層の融雪がもたらす災害特性の把握について、現地データ、実験等を用いた研究を行っています。

共同研究キーワード

河床・流路変動 / 土砂災害 / 河道内植生 / 大規模流路変動 / 側岸侵食 / 流砂 / 融雪 / リモートセンシング / 流域環境保全 / 魚類・底生動物